

令和8年度第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

○ 令和8年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿		P 1
○ 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱		P 2
○ 【資料1】令和7年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ(抜粋)		P 3
○ 【資料2】伊勢志摩地域の県立高等学校について(令和8年度)		P 7
○ 【資料3】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況		P 18
○ 【資料4】令和8年度の協議について		P 20
○ 【資料5】伊勢志摩地域中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)		P 21
○ 【資料6】伊勢志摩地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員(全日制)の推移と予測		P 22
○ 【資料7】県立高等学校(全日制)の学級数の状況(令和9年度)		P 23
○ 【資料8】伊勢志摩地域および松阪地域の高等学校等の学科・コースについて(令和9年度)		P 24
○ 【資料9】市町別の中学校卒業生進学先の状況		P 25
○ 【資料10】伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の交通手段等		P 26
○ 【資料11】伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況		P 28
○ 【資料12】伊勢志摩地域 学校の施設老朽化の状況		P 29
○ 【資料13】令和22年度までの伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の総学級数について		P 30
○ 別冊資料1 令和7年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ		
○ 別冊資料2 県立高等学校活性化計画(令和4年3月)		
○ 別冊資料3 県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について 答申		

令和 8 年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

N o		所属及び名前	本年度 出席委員	新・継
1	学識経験者	三重大学 教育学部 教授 田中 伸明	○	継続
2	地域有識者	伊勢商工会議所 事務局長 澤村 哲弥	○	新規
3		鳥羽商工会議所 専務理事 矢野 次男	○	継続
4		志摩市商工会 常務理事 西尾 新	○	継続
5		度会町商工会 事務局長 山本 雄紀	○	継続
6	市町教育委員会 教育長	伊勢市教育委員会 教育長 小林 貴法	○	継続
7		鳥羽市教育委員会 教育長 岩本 和也	○	継続
8		志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一	○	継続
9		度会町教育委員会 教育長 中村 武弘	○	継続
10		南伊勢町教育委員会 教育長 劔山 成実	○	継続
11	県立高等学校長代表	県立宇治山田商業高等学校 校長 川上 香里	○	新規
12	小中学校長代表	伊勢市立二見中学校 校長 中西 祐一	○	継続
13		鳥羽市立答志中学校 校長 橋本さゆり	-	新規
14		志摩市立志摩中学校 校長 大木 信幸	○	新規
15		玉城町立玉城中学校 校長 作野 順也	-	継続
16	小中学校 P T A 代表	伊勢市 P T A 連合会 代表 大西 弘展	○	新規
17		鳥羽市 P T A 連合会 代表 井村 泰典	○	新規
18		志摩市 P T A 連合会 代表 森田 和樹	○	新規
19		度会郡 P T A 連絡協議会 代表 村田 陽太	○	新規
20	高等学校 P T A 代表	南勢地区高等学校 P T A 連合会 代表 米山 美菜	○	新規
21	小中学校教職員代表	大紀町立大紀中学校 教諭 阪口 文博	○	新規
22		伊勢市立小俣中学校 教諭 小澤 俊仁	○	新規
23	高等学校教職員代表	県立明野高等学校 教諭 山元 通央	○	新規

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、伊勢志摩地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の伊勢志摩地域全体における県立高等学校の在り方に関すること
- (2) 伊勢志摩地域の県立高等学校活性化の方策に関すること
- (3) 施設・設備に関すること
- (4) その他検討を要すること

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成24年 6月28日から施行する。

この要綱は平成29年 8月 1日から施行する。

令和 7 年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（抜粋）

○これまでの経緯

【参考】「県立高等学校活性化計画」（令和 4 年 3 月）より

これからの時代に求められる学びを提供できる県立高等学校のあり方

- これからの高等学校は、生徒の個性と能力を伸ばしつつ、予測困難な時代を豊かに生きるために必要な力を育み、持続可能な社会の創り手を育成することが求められている。そのため、生徒一人ひとりの興味・関心を高める教育に加え、協働的な学びや学校行事、部活動等を通じ、多様な考え方や価値観にふれ、互いに協力しあったり、切磋琢磨したりしながら、豊かな社会性・人間性を身につけられる環境が一層重要となっている。
- 平成 29 年度から地域の協力を得て取組を進めてきた 3 学級以下の小規模校活性化の検証結果、令和 2 年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する 15 年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現行の高等学校の配置を継続していくのは難しい状況にある。このため、各地域の高等学校の学びと配置のあり方について検討を進め、その中で 1 学年 3 学級以下の高等学校は統合についての協議も行うこととする。これらについては、それぞれの地域の活性化協議会において具体的な内容を丁寧に協議することとし、協議が必要となる地域に協議会がない場合は同様の場を設けるものとする。
- こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めることとし、その際、状況に応じて、これまで取り組んできた、地域と連携した学びや学校独自の学びについての継承、交通が不便な地域における学びの機会の提供方策、分校化や校舎制への移行などについて協議することとする。
- 1 学年 3 学級以下の高等学校のうち、他の高等学校では担うことが難しい 県内唯一の学科や学びの形態を有する高等学校は、引き続き活性化に取り組むこととする。
- 入学者が 2 年連続して 20 人に満たず、その後も増える見込みのない場合は、募集停止とすることとする。
- 次代の担い手となる三重の子どもたちがこれからも安心して学び、豊かな社会性・人間性が育まれる高校教育を進めていく。

【参考】「令和 4 年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」（令和 5 年 2 月）より

今後の伊勢志摩地域の高等学校の学びと配置のあり方について（当協議会の考え方）

- これからの時代を生きる伊勢志摩地域の高校生にとって、自己の将来を切り拓く力や、自ら学び続ける力、確かな学力の育成とともに、大学進学や就職などの進路希望の実現につながる多様な学び、学校内外での様々な人々との関わりを通じて豊かな社会性・人間性が育まれる学び、地域と連携し地域への愛着心が育まれる学び、それらの学びの質を高めるための 一人ひとりへのきめ細かな関わりが必要です。現在、当地域における高校の 1 学年の総学級数は 32 学級ですが、令和 3 年度に生まれた子どもたちが高校へ入学する令和 19 年度には 18 学級から 21 学級に減少することが見込まれます。そのため、現在の 9 校 10 校舎の配置のままでは当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要となります。
- 今後、令和 19 年度までの 15 年間における伊勢志摩地域の高校の配置と活性化方策については、この期間の生徒の減少状況をふまえ、当地域全体を見通した具体的な検討を進めるとともに、必要に応じて、交通が不便な地域における学びの機会の提供方策、中学生への事前の周知についても検討することとします。その過程にある令和 6 年度の生徒減については、専門学科の学びの選択肢や普通科の一定規模の維持を基本としつつ、地域の小規模校が担ってきた役割やニーズをふまえ、さらに小規模化が想定される高校の学びを支えながら、できるかぎり統合ではなく学級減で対応することが望ましいと考えます。
南伊勢高校については、令和 5 年度に南勢校舎の全生徒数が 10 人程度と見込まれ、今後も生徒増が見込めない状況であるため、令和 6 年度から南勢校舎を募集停止とすることはやむをえないと考えます。募集停止後は、引き続き南勢校舎に在籍する高校 2、3 年生の生徒が度会校舎の生徒と共に学ぶ機会を増やすとともに、南勢校舎を活用して通信制高校のサテライト教室を設け、学習支援の環境やこれまで培ってきた地域での学びを提供することについて、ニーズ調査や研究を進めていくことが望ましいと考えます。

【参考】「令和5年度の協議（今後の学びと配置のあり方について）」の概要

- 現在の9校の配置のままであれば当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しい
- 各学科・コースの学びの選択肢はできる限り維持することが望ましい
- 進学ニーズに応える普通科高校は、8学級規模が望ましい。やむを得ず学校規模を縮小する場合、6学級を下回らないよう一定規模を維持
- 部活動の活性化の観点から4学級以上が望ましい
- 1学年1学級となる3校の役割や教育実践を注視しながら、統合も含めた今後のあり方について議論
- 水産高校は引き続き活性化に取り組む（現計画期間）

【参考】令和6年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会～主な意見～

- 中学校卒業者数の減少を踏まえると、統廃合はやむを得ない
- 15年先を見据え、逆算して学級減への対応を検討
- 「進学ニーズに応える普通科高校は、6学級を下回らない」と「部活動の活性化の観点から4学級以上」の視点が大切
- 学びの選択肢の維持、多様な子どもたちのニーズに対応
- 現場の声を踏まえつつ、抜本的な再編も検討
- 通学時間・距離や校舎の老朽化への対応も考慮
- 県内唯一の学科を有する水産高校と総合学科の学び
- 高校の特色化・魅力化と情報発信
- 入試制度や学級編制基準、教員の配置基準の動向も考慮

5 今後の当地域の学びと配置のあり方について

(1) 学びと配置のあり方の方針

- 少子化の中にあっても、主役となる子どもたちを第一に考えながら、地域にどのような高校が必要なのか、前向きに検討する。
- 地域で活躍する人材育成や地域の活性化の観点から、地域の高校で、子どもたちが学びたいと思える特色・魅力ある教育環境を提供することが大事である。
- 大学等への進学や各専門分野の技術・技能の習得など、多様なニーズに対応できる教育環境を整える必要がある。
- 再編に関する議論にあたっては、引き続き「伊勢市内の高校の再編」と「小規模校のあり方」の2つの観点で論じる必要がある。
- 子どもたちの選択肢の維持を図るにあたっては、地域にある国公立の学びの重なりや、役割についても勘案しながら、検討を進める必要がある。
- 学びと配置のあり方を検討する上で、私立高校の入学定員の状況や授業料無償化の影響、学級編制標準と教員の配置標準の見直し、入試制度改革の動きなどについて注視する必要がある。
- 引き続き県立高校が、「学びのセーフティーネット」としての役割を果たし、多様な背景をもつ子どもたちの選択肢となるよう、教育環境を整備する。
- 地域の子どもたちが地域で学べるよう、普通科、専門学科、総合学科の学科・コース・系列など多様な学びの選択肢をできるだけ維持する。
- 大学進学のニーズに応える高校は、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置のためには、少なくとも1学年あたり6学級あることが望ましい。
- 部活動の活性化の観点から、1学年あたり4学級以上あることが望ましい。
- 令和4年3月に策定された「県立高等学校活性化計画」で規定する「他の高等学校では担うことが難しい県内唯一の学科」である水産高校は、引き続き活性化に取り組むこととする。
- 地域における学びの選択肢の維持のために、総合学科のあり方については、引き続き議論する必要がある。
- 再編を行うにあたっては、校舎制の採用や多様なニーズに応えられる校舎の新築・建替え、ICTの活用による授業変革など、柔軟かつ抜本的な試みも必要である。
- 同一の設置者が多様な課程、学科を有しているという県立高校の強みを生かし、異なる学科の併設や定時制や通信制などの課程の枠を越えた検討を進める必要がある。
- 再編するにあたっての学科や学校の組合せなど、協議会だけでは方向性を示すことが難しい内容もあるので、専門的な知見や高校現場の意見をふまえて検討する必要がある。
- 通学方法や通学時間など、通学に係る状況を考慮する。通学時間については、概ね90分以内、できれば60分以内であることが望ましい。
- 令和10年度の学級減への対応については、15年先までの過程であることを意識しつつ、令和13年度から令和15年度までの学級減への対応とのつながりを想定して方向性をとりまとめる。
- 地域の子どもたちや保護者が行きたい、行かせたいと思える特色・魅力ある教育が実現できるよう、15年先の学びと配置の将来像（グランドデザイン）を描く必要がある。

(2) 1 学年あたり 14 学級程度となることが想定される 15 年先(令和 22 年度)の学びと配置のイメージ

- 「学びと配置のあり方の方針」をふまえ、多様な背景をもつ子どもへの対応や、進学ニーズへの対応、各専門分野の技術・技能の習得などの学びの選択肢を確保しつつ、通学に係る課題や教育を取り巻く環境を勘案した上で、伊勢志摩地域全体で全日制課程の県立高校は、3 校程度に集約される。
- 上記のうちの 1 校は、県内唯一の学科を有する水産高校となる。

(3) 15 年先(令和 22 年度)を見据えた令和 10 年度に想定される 3 学級減への具体的対応

- 大学進学ニーズに応えるため、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置ができる 1 学年あたり 6 学級以上の普通科高校を、地域に 1 校は維持する。
- 現在ある専門的な学びを含む多様な学びの選択肢をできる限り維持する。
- 学校行事や部活動など、子どもたちが協働的に活動できるよう、可能な限り一定の学校規模を維持する。
- 総合学科の学びのあり方については、引き続き協議する。
- 多様な背景をもつ子どもたちが安心して学べる環境のあり方については、引き続き協議する。
- こうしたことから、令和 10 年度に南伊勢高校度会校舎と志摩高校の募集を停止することとし、全日制課程の県立高校 9 校を 7 校に再編して、これまで両校が担ってきた地域の学びを引継ぎつつ、学びを整理統合することで、伊勢志摩地域全体の県立高校の学びの充実を図る。
- なお、伊勢志摩地域における多様な学びの提供を保障する観点から、15 年先に 3 校程度に集約されるうちの 1 校となる、県内唯一の学科を有する水産高校においても、進学や就職などの多様なニーズに応える普通科に準ずる学びを取り入れる必要がある。

(4) 今後の協議について

- 合わせて 5 学級減程度の減少が想定される令和 13～15 年度には、令和 10 年度の学級減への対応後の配置のままでは、当地域の高校として望ましいとされる学校規模を維持することが難しくなることから、「伊勢市内の高校の再編」と「小規模のあり方」、「総合学科のあり方」の 3 つの視点を柱として引き続き議論を進め、次期県立高等学校活性化計画の策定に係る協議も注視しつつ、令和 9 年度を目途に方向性をとりまとめます。
- 「建物の集約化」に係る協議においては、多くの校舎で老朽化が進んでいることから、校舎の改築・新築を含む老朽化対策と多様なニーズに応えられる教育環境の提供を一体的にとらえ議論する必要があることから、長期的な視野をもって速やかに議論を進め、「学びの集約化」とともに、その方向性を示します。
- 高校は広域性（市町を越えて通学）を有することから、伊勢志摩を 1 つの地域としてとらえ、どの高校に進学しても地域のことを学び、地域と連携し、地域への愛着心が育まれる「伊勢志摩学」について、引き続き議論する必要があります。
- 15 年先の学びと配置の将来像（グランドデザイン）については、その過程にある学級減への対応の方針決定に係る根幹となることから、専門的な知見や高校現場の意見をふまえ、多面的な視点から教育環境への影響を検討しながら、より具体の姿が示されるよう考えをとりまとめ、早期に示す必要があります。

伊勢志摩地域の県立高等学校について（令和 8 年度）

1 全日制課程

①明野高校	（伊勢市）	生産科学科(40)、食品科学科(40)、生活教養科(40) 福祉科(40)
②宇治山田高校	（伊勢市）	普通科(160)
③伊勢高校	（伊勢市）	普通科(240)、国際科学コース(40)
④宇治山田商業高校	（伊勢市）	商業科(80)、情報処理科(40)、国際科(40)
⑤伊勢工業高校	（伊勢市）	機械科(80)、電気科(40)、建築科(40)
⑥南伊勢高校度会校舎	（度会町）	普通科(40)
⑦鳥羽高校	（鳥羽市）	総合学科(40)
⑧志摩高校	（志摩市）	普通科(40)
⑨水産高校	（志摩市）	海洋・機関科(40)、水産資源科(40)

2 定時制課程

⑩伊勢まなび高校	（伊勢市）	普通科：午前の部(40)、午後の部(40) ものづくり工学科：夜間部(40)
----------	-------	---

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科
（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
【職業系】農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科
など職業教育を主とする学科
【普通科系】理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科など職業系
以外の専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

令和 8 年度 明野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 農業、衣・食、福祉の専門高校として、それぞれの分野の専門的知識・技術の習得に取り組み、卒業後に実社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成
- 地域産業との連携を推進し、地域から信頼されるとともに、地域から必要とされる人材の育成

2 学校の特色（生産科学科 1 学級＋食品科学科 1 学級＋生活教養科 1 学級＋福祉科 1 学級）

- 本校は、創立以来 146 年という長い歴史を有し、農業関係学科と家庭関係学科を中心に発展してきました。平成 31 年度より農業学科（生産科学科、食品科学科）、家庭学科（生活教養科）、福祉科の 4 学科の募集となり、実学を中心に地域に貢献できる社会人の育成に力を注いでいます。本校では、広大な敷地と緑豊かな学習環境の中で、課題研究や資格取得をめざして生徒たちが意欲的に学習に取り組んでいます。平成 29 年度から農業生産工程管理 J G A P、グローバル G A P、A S I A G A P 等の認証を取得しました。また放課後の部活動や、農業クラブ・家庭クラブなどの活動をととして地域連携に励む生徒など、様々な分野に精力的に取り組む、明るく活気のある生徒がたくさん学んでいます。

<農業学科>

生産科学科では食料生産を中心とした農業生産に関する知識や技術を習得するとともに、現代の農業・農業関連産業を支え、農業の各分野で活用できる能力と態度を育成します。食品科学科では食品の加工・貯蔵・品質管理および食品衛生に関する知識や技術を総合的に学びます。将来食品業界や関連産業で貢献できる人間性豊かな能力と態度を育成します。

<生活教養科>

衣・食を中心とした家庭生活に関わる様々な分野の知識や教養を身につけ、健康で豊かな家庭生活を営める力および生活産業を支える人材を育成します。

（ア）デザインコース

ファッションデザイン・被服製作・課題研究の中で衣生活に関する基礎的・専門的な知識と技術を習得します。作品としてはシャツ、ジャケット、ゆかた、ドレスなどを製作しています。また、家庭科技術検定などの各種検定の取得や地域との交流なども取り入れています。

（イ）調理コース

調理・食品・食文化・課題研究といった授業をととして調理や栄養など食分野の専門知識や基礎的技術の習得をめざします。また外部講師による講習会も多く実施しています。

<福祉科>

福祉に関する専門科目を学び、地域の福祉分野で活躍する人材を育成します。

（ア）社会福祉コース

多様化する社会福祉に対応できる福祉の基礎を学習します。

- ・保育所、障がい者・障がい児、高齢者福祉施設での実習
- ・福祉系、保育系大学・短大・専門学校への進学を視野に入れた専門教科の学習

（イ）介護福祉コース

介護のスペシャリストとしての専門知識・技術を習得します。

- ・介護福祉士の国家試験の受験資格取得および介護福祉士国家試験 100%合格をめざしています。
- ・地域の高齢者福祉施設での実習による実践的介護技術の習得をめざします。

令和 8 年度 宇治山田高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

◎知性と教養、豊かな人間性を育み、自主自律の校訓のもと生徒の自主性を尊重し、生徒が持っている可能性を伸ばし、実社会で活躍できるリーダーを育成する。

2 学校の特色 （普通科 4 学級）

◎歴史と伝統

○『山高』の愛称で親しまれている「三重県立宇治山田高等学校」は、旧制宇治山田中学校と旧制宇治山田高等女学校の歴史と伝統を受け継ぎ、各界で活躍する卒業生を数多く輩出してきた、創立 127 年を迎える学校です。未来を担う生徒たちは、自主・自律の校訓、文武両道の伝統のもと、日々豊かで充実した高校生活を送っています。

◎主な特色

○進路実現に向け、モチベーションを継続する学習・進路指導

・質の高い豊富な授業時間数

週 3 回の 7 限授業

・きめ細かな学習指導

英語・数学は、原則少人数の習熟度別授業を実施

・学力向上のサポート

多様な進学向け課外授業

・個々に応じた進学指導

進路希望に応じた柔軟なクラス編成（選抜クラス、一般クラス）

○自主・自律の校訓

生徒の主体性を大切にした学校行事

○文武両道の推進

運動系・文化系クラブ 32 部

○前期選抜と後期選抜を設定

◎山高進学の特徴

1 現役での進学率が高い 93%

2 東海・関西地方への進学が多い 93%

3 文系・教育系の進学に強い

4 医療系（看護、理学・作業療法、放射線技師等）の進学に強い

☆多様な機関と連携した学びに取り組んでいます。

○みえ高校生県議会や高校生いせミライプロジェクトに参加しています。

○探究活動において、地域の課題をテーマに研究を進める生徒がおり、関連施設等に調査に出かけるなどしています。

○県事業「みえアカデミック探究学習推進事業」に取り組み、三重大学の学生にチューターとして探究活動をすすめるうえでのアドバイスをもらったり、県内事業所社会人を講師として、高校での学びが社会活動にどのようにつながっているかについて講演を聞いたりしています。

○外部講師を招き、探究活動やキャリア学習を進めています。（三重大学、皇學館大学、県立看護大学等からの講師）

令和 8 年度 伊勢高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

「生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼される魅力ある進学校を目指します」

○高い志を抱いて、社会に貢献できる人を育てます。

○自己の実現のために、自ら学び、考え、行動し、粘り強く努力する人を育てます。

○知的探究心にあふれ、情操豊かで創造性に富んだ人を育てます。

2 学校の特色 （普通科 6 学級＋国際科学コース 1 学級）

本校の教育方針は、「生徒個々の自立を促し、知的探究心に溢れた、情操豊かで行動力のある人間を育てる」ことにあります。校章の 3 つの菱形は「知識、情操、行動」の円満な人間形成を表しています。普通科のみで、各学年 7 クラスと南勢志摩地域では最大規模の県立高校です。「学校の雰囲気がよく、楽しい」と思う生徒が 90%を超える、満足度の高い学校です。

【人間形成の場として】

○自主自律の精神と自由な校風です。自ら考え、自らの行動を厳しく律してこそ自由を謳歌できることを学び取ることができます。

○体育祭、文化祭、クラスマッチなど多彩で盛り上がる行事があります。

○担任との面談週間が年 4 回あり、学習・進路・生活面のサポート、補習・課外授業等教科のサポートも充実しています。

【充実した学習指導】

本校の教育の基本は「授業第一主義」です。「毎日の真剣な授業の積み重ねこそが真の学力になり得る」をモットーとし、生徒と教員が一体となって真剣に授業に取り組んでいます。また、45 分の 7 限とすることで、国語・数学・英語の 3 教科はほぼ毎日授業があり、基礎学力の定着に効果をあげています。

【SSH探究活動】

文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、15 年目の取組をしています。科学技術に携わる人材育成から、幅広く探究的に物事をとらえ、学問に生かす活動をしています。

令和 7 年度「みえ探究フォーラム」口頭発表部門 教育長賞受賞

ポスター発表部門 教育長賞受賞

【部活動】

多くの生徒が部活動に所属し、県代表として活躍するなど部活動の盛んな学校です。

令和 8 年度 全国大会出場 ソフトテニス部 囲碁部 将棋部 弁論

令和 8 年度 東海大会出場 ソフトテニス部 陸上競技部 弓道部 空手道部

【進路実績】

令和 8 年度入試での国公立大学現役合格者延べ数は、京大 2 名、名古屋大 5 名、医学部医学科 7 名などの難関大学・学部を含 149 名でした。また、地元の三重大は 52 名でした。

令和 8 年度 宇治山田商業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 校訓「健康明朗・自律協同・誠実勤勉」のもと、自立を促し、変化する実社会で活躍できる基礎を育む学校

2 学校の特色（商業科 2 学級＋情報処理科 1 学級＋国際科 1 学級）

（1）商業科

- ビジネスに関する幅広い知識と技術を習得し、より専門的な知識や技術を備えた人材を育成します。
- 簿記、情報処理などのビジネスに関する幅広い資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

（2）情報処理科

- 進展する情報化社会において、情報を処理・分析し、情報機器を活用した業務改善が提案できる人材を育成します。
- ITパスポート、基本情報技術者等の国家資格を中心に、簿記などのビジネスに関する資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

（3）国際科

- 多角的な英語の授業により実践的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、簿記や情報処理などビジネスに関する知識や技術を習得し、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成します。
- 実用英語検定をはじめ、簿記などのビジネスに関する幅広い資格取得を進め、卒業後の進路実現をめざします。

【探究型活動】

1 年生から教科学習でグループ活動を積極的に取り入れ、その中で授業内容に沿ったテーマで探究活動を行っています。特に 3 年生では、全学科共通の「課題研究」の授業において、生徒がテーマを設定し、「観光」、「ビジネスプラン」、「商品開発」をはじめ、地元伊勢市や多くの企業とも連携した探究的な学習に取り組んでいます。

【活発な部活動】

ほとんどの生徒が部活動に取り組んでおり、運動部・文化部ともに活発に活動し、多くの部活動において全国レベルの成果をあげています。

【進路希望の実現】

「商業高校＝就職」のイメージが強いですが、山商からは国公立をはじめ難関私大にも多数合格しており、進学者が卒業生の 7 割を占めています。一方、公務員や地元を中心とした多くの有名企業へも就職し、生徒は充実した学校生活を送りながら進路希望の実現に取り組んでいます。

令和 8 年度 伊勢工業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

○活気ある工業高校 「高志」ある生徒

地元企業の基盤を支える技術者の育成を軸に、一人ひとりの生徒が望む進路の完全保障を実現する工業高校

- ・ 基本的生活習慣を着実に身につけた、社会常識のある明るく素直で積極的な生徒の育成（ひとづくり）
- ・ 産業界から求められる確かな技術・技術を身につけようと意欲に満ちて励む生徒の育成（ものづくり）
- ・ 自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒の育成

2 学校の特色（機械科 2 学級＋電気科 1 学級＋建築科 1 学級）

明治 29 年（1896 年）造船技術を学ぶ「大湊工業補習学校」として開校して以来、130 年の歴史と伝統をもち、これまでの卒業生は 1 万 6 千人を超え、地元企業を中心に産業界へ数多くの有為な人材を輩出しています。求人数は就職希望者数の約 26 倍あり、南勢地区唯一の工業高校として地元企業から厚い信頼を寄せられている学校です。

実験・実習などは 1 班 10 人の少人数指導を実施し、一人ひとりの能力・適性に応じたきめ細かな指導を行っています。また、生徒の「ものづくり」の視野を広げるため、各種資格取得に向けた学習ができるよう校内体制づくりに努めるとともに、各科でスペシャリストを育成しています。「高校生ものづくりコンテスト」県大会においては、昨年度、木材加工部門（2 名参加可能）で優勝・準優勝、電気工事部門でも準優勝し、東海大会に出場しました。

令和 3 年度からは、地域の「困りごと」を、生徒がこれまでに身に付けてきた「ものづくり」の技術で解決する「高校生工務店」という活動も行っています。昨年度は保育園のクラスネームプレート作りや、特別支援学校の教材として使用するおもちゃの改造を行うなど、この活動をとおして地域の方々とふれあうことで、「ものづくり」だけでなく「ひとづくり」も大切な教育目標として取り組んでいます。

近年の急速な技術革新など、大きな社会の変化に応じて求められる知識や技術を十分に把握しながら、生徒が専門的な技術・技能を習得し「課題解決力」を備えた熱意ある技術者となるよう指導しています。令和 6 年度からは文部科学省の「高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）」の指定を受け、DX に対応した新たなものづくり人材の育成を進めています。また、グローバルに活躍できる人材育成を目指し、昨年度から台湾の高校との共同研究にも取り組んでいます。

部活動も盛んで、全校生徒の約 80%が 11 の運動部、7 つの文化部に所属して活動しています。運動部は毎年、県高校総体において総合成績は上位に入っており、陸上競技部、ソフトテニス部、バドミントン部、レスリング部をはじめとする各部が、県内大会において顕著な成績を残しています。文化部では、機械研究部、建築研究部、電気研究部といった工業高校の特色を活かした部活動に加え、吹奏楽部、茶道部、美術部等があります。なかでも建築研究部は、昨年 6 月に伊勢市長へ「伊勢市駅前商店街のパークレット（休憩所）」のデザインプレゼンテーションを行い、令和 8 年 3 月には、設置されたパークレットの完成式典にも参加しました。

進路実績は、約 8 割の生徒が就職し、伊勢志摩地域や三重県、東海地方において、ものづくりを担うスペシャリストとして活躍しています。残りの約 2 割の生徒は、さらなる専門知識・技術の修得を目指して進学しています。この進学した卒業生の中から、将来の教員を目指す者が毎年本校を訪れ、教育実習を行っています。

令和 8 年度 南伊勢高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

◎自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献する“ひと”を育成する学校

●育みたい生徒像

- 自立に向け、基本的生活習慣と基礎学力を身につけた生徒
- 自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒
- 自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒

2 学校の特色（普通科 1 学級）

◎本校の特色ある学習内容

- (1) 度会町社会福祉協議会との交流「福祉体験学習」「クリスマス会」等
- (2) 特別支援学校との交流「総合的な探究の時間での交流」
- (3) 様々な体験講座「茶摘み」「心肺蘇生法」「交通安全教室」等
- (4) 様々な講演会「人権教育」「地域活動」「進路」「国際教育」等
- (5) 小中学校等との交流「出前授業」「図書館開放」「高校生活入門講座」「進路説明会」等
- (6) 近隣ケアハウスとの交流「出前図書館」「総合的な探究の時間での交流」等
- (7) 森林組合での体験・交流「総合的な探究の時間での体験・交流」

本校では、地元の皆様の支援をいただきながら、以上のような体験的・課題解決的な授業を行い、これからの社会を生き抜く力の育成に取り組んでいます。

令和 8 年度も、地元茶園のご協力による茶摘み体験（度会小学校・度会中学校・度会特別支援学校と合同で実施）、度会町教育委員会と協働した図書館開放イベント（地元保育所・小学校の園児・児童が来校）、ケアハウスへの「出前図書館」（本校の蔵書を持参し、貸出）などを実施します。総合的な探究の時間における、度会町社会福祉協議会・度会特別支援学校・いせしま森林組合・棚橋保育所等、地域の様々な団体との交流活動も例年通り実施しています。今後は度会町商工会・度会町役場と連携して、地域の祭りにも参画する予定です。

◎全教職員による、一人ひとりの生徒へのきめ細かな関わり

本校では、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな関わりを大切にしています。授業などの学習指導における関わりだけでなく、生徒の日々の悩み事などを全教職員がそれぞれの関係性の中で受けとめ、連携して支える雰囲気があります。また、進路実現に向けた様々な学習も全校体制で指導・支援しています。

そういった教職員の関わりは、学習活動・部活動の活性化にもつながっています。学習活動においては、基礎学力の向上、各種資格取得等に成果が現れています。部活動においては、戦績として目立ったものはないとも、教職員の支援のもと部員が少ない中で工夫して練習し、互いを思いやり支え合いながら人間的に成長していく生徒の姿が随所に見られます。

令和 8 年度 鳥羽高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校
 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～

2 学校の特色（総合学科 1 学級）

- ・創設 115 年目を迎え、卒業生は 18,000 人を超える歴史と伝統のある高等学校
- ・国際観光都市・鳥羽の豊かな自然や文化に恵まれた公立高等学校
- ・南勢地区において唯一の総合学科を設置する高等学校

<学びの目標>

- ・地域社会で貢献できる力をつけるための体験的な学習の推進
- ・進路実現を目指し、基礎的・総合的な個々の進路希望に応じた主体的な学習の推進
- ・社会的・職業的自立に向け、必要な規範意識と人権意識の確立

<具体的な教育活動>

- ・探究活動（産業社会と人間、総合的な探究の時間、鳥羽学）
- ・少人数教育、基礎学力診断、基礎学力の定着・向上にむけた勉強会
- ・系列授業、自由選択科目、就業体験学習（観光・福祉）
- ・人権ロングホームルーム、部活動、交流（国際・他県高校生・地域小中学生）等

3 総合学科 3 系列の内容（2 年次から系列選択）

- 1) 観光ビジネス系列【観光を通して、企業の即戦力を目指す】
 - ・情報処理やビジネスの基本、観光地鳥羽の魅力、商品開発などを学びます。
- 2) 総合福祉系列【介護職員初任者研修の資格取得を目指す】
 - ・福祉・保育施設等での体験実習、高齢者などへの援助の方法などを学びます。
- 3) 人文教養系列【個々に応じた進路希望を目指す】
 - ・少人数講座が多く、一人ひとりの学習状況・進路希望に応じた学習環境で学びます。
 - ・基礎的な学力から進学後に必要な発展的な学力まで、幅広く身につけます。

4 多くの地域連携と特色ある授業、取組

- 幅広い選択科目（学校設定科目として手話、おもてなし入門、陶芸等）
- デュアルシステム・インターンシップ（地元企業・施設で就業体験、実習）
- 地域探究「鳥羽学」（鳥羽を舞台に知識習得、課題発見、探究、発表）
- 産業社会と人間（起業体験プログラム「とばっ子カンパニー」）
- 異校種連携（幼稚園を招聘、小学校出前講座（英語、地域研究、商品開発）等）
- 国際交流（R 6 ミスインターナショナル・フランス、R 7 茶道体験・エストニア）
- ほっとばカフェ（こども食堂との連携、放課後生徒の居場所づくり、地域交流）
- 部活動等連携（フェンシング部合同練習、とばっこくらぶ（地域魅力発信）等）

令和 8 年度 志摩高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 「自律・協調・敬愛」の校訓のもと、生徒一人ひとりの希望がかなう確かな進路実現に向けて、「チーム志摩高」として教職員が一丸となって取り組む学校
- 志摩地域唯一の普通科高校として、地域と連携・協働し、地域に貢献し、地域に愛され、地域とともにある学校

2 学校の特色（普通科 1 学級）

在校生全員が志摩市とその隣接市町の中学校出身という極めて地域性の高い学校で、志摩市内唯一の普通科高校として地域との結びつきを大切にし、地域のサポートをいただきながら、個々の生徒に寄り添った教育活動に取り組んでいます。今後も小規模校のメリットを最大限に生かし、一人ひとりの生徒の満足度を高める教育活動を続けていきます。

（1）志摩高校が大切にしているふたつの学び

①地域について学ぶ

- 3年間の総合的な探究の時間「志摩学」で地域に関する探究活動を行う
- 「志摩学」の一環としてフィールドワークを行い、地域の方の生の声を聞く
- 地域の方を講師に招き、地域の実情を学ぶ
- 地域に関連する題材を取り入れた日々の授業をとおして、多面的に地域を学ぶ
- 部活動、生徒会活動、学校行事等、学校生活全般で地域と関わる

②進路希望をかなえる

- 小規模校のメリットを活かし、一人ひとりの生徒に寄り添った指導を行う
- 習熟度別学習や、放課後の学習タイム「マナビバ」を活用し、基礎学力の定着と一人ひとりに応じた学力向上をめざす
- コミュニケーション能力・社会常識・課題解決能力等、社会の即戦力となる力を身につける
- 1年生からの計画的なキャリア学習をとおして、自身の進路意識を高める

（2）進路を実現するためのコース

2年生からは、卒業後の進路目標に合わせ、コースに分かれて学習します

- 進学コース・・・進学した大学等で学ぶための基本となる学力を身につけるとともに、進路希望先の受験に対応できる科目を学べ、三重大学教育学部や三重県立看護大学の地域推薦での受験が可能なコース
- 教養コース・・・社会人として求められる基本的な能力や、現代社会で必須とされるパソコンスキルの習得、関連資格の取得に加え、芸術・家庭・体育分野等も幅広く学び、豊かな人間性を育めるコース

（3）地域連携

- ・地域連携型キャリア教育「志摩学」でのフィールドワークや、事業所等による講演
- ・志摩市選挙管理委員会による「模擬選挙」「期日前投票所の設置」
- ・志摩市役所健康推進課による「健康づくり出前講座」
- ・鳥羽警察署と連携したハイスクールパトロール「A f t e r G 7」
- ・全国豊かな海づくり大会への協力・参加 ・保幼小中合同の避難訓練 等

令和 8 年度 水産高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

「かけがえのない海を護り、命を尊び、海の恵みを活用する豊かな人間性を備えた人材を育成する」というスローガンのもと、「学力の定着・向上」「希望進路の実現」「豊かな心の育成」に注力する「地域と社会から信頼され必要とされる学校」

2 学校の特色（海洋・機関科 1 学級＋水産資源科 1 学級）

県内唯一の水産・海洋系専門高校として海洋・機関科（2 年時より海洋コース、機関コース、水産工学コース）と水産資源科（2 年時よりアクアフードコース、アクアデザインコース）を設置し、次のような特色ある教育活動を実施しています。

- 実習船「しろちどり」による長期航海実習
- 海洋環境調査や魚貝類の放流など水産資源についての貢献活動
- ダイビングなどのマリンスポーツについての学習
- ディーゼルやガソリン等の各機関や機械等の構造、作動、取扱いについての学習
- 金属材料や機械製図、機械加工等についての学習
- 魚介類の養殖や繁殖保護、魚介類に関する食品加工等についての学習
- 小型船舶操縦士、ボイラー技士、電気工事士、危険物取扱者等の資格取得
- 本校は 5 級海技士（航海・機関）の養成施設の指定を受けているため、5 級海技士の筆記試験が免除
- 大型漁船や貨物船の船長・機関長、士官となるために必要な上級海技士免状の取得をめざす漁業専攻科・機関専攻科（各 2 年）も設置

<海洋コース>

乗船実習を中心とした専門的な学習を通じて、航海や海に関する知識・技術を習得し、海技士（航海）・1 級小型船舶操縦士の資格取得を目指すとともに、ダイビング実習等を通じて海洋についての知識・理解を様々な角度から深め、水産業界をはじめとする各産業界や地域に貢献できる人材を育成します。

<機関コース>

乗船実習を中心とした専門的な学習を通じて、船舶の機関士に関する知識・技術を習得し、海技士（機関）・1 級小型船舶操縦士の資格取得を目指すとともに、併せて工学に関する基礎的な学習を幅広く行いながら、船舶、工業、港湾関連や地域に貢献できる人材を育成します。

<水産工学コース>

工学的な分野だけではなく、水産、海洋、商業といった多種多様な専門的な学習を行います。併せて広い範囲の専門教科の学習を行い、機械系製造業の関連業界で活躍できる人材を育成します。

<アクアフードコース>

乾製品、ねり製品、佃煮、ビン詰め、燻製品等の水産加工食品を中心に様々な食品についての知識・調理・加工技術を学習します。原材料や副材料についての学習を通じ、様々な食材の特徴や利用について理解を深めます。食品の品質管理や安全管理についての知識を習得し、食に関する関連業界で活躍できる人材を育成します。

<アクアデザインコース>

海洋生物の採集、繁殖、アクアリウムの設計や魚類（ブリ・マダイ・サケマス・金魚など）の種苗生産・養殖管理技術を学習します。また、地域産業である真珠養殖等の学習を行います。海洋環境に関連する諸問題等についての理解を深め、関連業界で活躍できる人材を育成します。

令和 8 年度 伊勢まなび高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒が安心して楽しく学べる学校
- 生徒が学びたい内容を自分のペースにあわせて学べる学校
- 生徒が社会に出て自立できる力を身につけられる学校

2 学校の特色（普通科 2 学級＋ものづくり工学科 1 学級）

（1）3 部制の定時制高校

普通科の「午前の部」（8：50～12：15）と「午後の部」（13：10～16：35）、ものづくり工学科（工業科）の「夜間部」（17：30～21：05）の 3 部からなる定時制高校です。生徒はいずれかの部に所属し、基本的に 1 日 4 限の授業を受けます。

（2）単位制の高校として

単位制の本校には、「進級」や「原級留置」という考え方ありません。学校が定める教科科目を 74 単位以上修得すれば卒業が認められます。定時制高校は 4 年間で卒業することを基本としますが、本校では自分の所属する部の時間帯以外の授業を受けることにより、3 年間で 74 単位以上の科目を修得し卒業すること（三修制）も可能です。高等学校卒業程度認定試験の合格科目、技能審査に関する学修、通信制課程での修得単位（定通併修）等、学校外での学修成果に対して一定の条件で単位を認定しており、認定された単位を卒業に必要な単位に含めることもできます。

また、社会に出て自立できる力を身につけられるよう、必修修科目以外に「手話」「ペン習字」「コミュニケーション学習」「地域工芸学」等、本校独自の多様な選択科目を設定しています。

（3）二期制が始まりました

二期制では、1 年間の学校生活を前期（4 月～9 月）、後期（10 月～3 月）の 2 つの学期に分け、基本的に学期ごとに単位を認定します。半年という短い期間で目標に向かって集中して学ぶことで、学習内容がより定着し、理解が深まります。

（4）通級による指導の導入（県内の高校で初）など多様な生徒に対する支援

本校には、不登校や他校を退学した経験がある生徒、家庭的・経済的に困難さがある生徒、発達障がいを含む特別な支援を必要とする生徒などが在籍しています。多様な生徒を支援するため、少人数のクラス編成やティーム・ティーチングの実施、特別支援教育の推進等に取り組んでいます。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、高校生活スペシャルマネージャーや外部機関とも連携しながら、きめ細かな教育を行っています。

特に、本校では発達段階に関わらず、特に通常の授業や卒業後の社会において、「人とのつながり（関係）を自分で作ることができるか」を重視し、必要と思われる生徒に対して、社会で自立するために必要な力やコミュニケーション能力等を高めることが出来るよう、通級による指導を実施しています。通級による指導とは、大部分の授業を通常の学級で受けながら、障がい等に応じた特別な指導を特別な場で受ける指導形態のことであり、授業の遅れを取り戻すために取り出して行う指導ではありません。

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学希望者の状況

1 令和8年3月卒・現高1

(1) 全日制

資料 3

学校名	学科・コース	入学定員	R7/12時点の進学		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者数	欠員	
			希望者数	定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集人数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員			志願者数
明 野	生産科学	40	38	▲ 2	20	37	1.85	22	18	22	1.22	18	0	0	40	0
	食品科学	40	34	▲ 6	20	32	1.60	22	18	9	0.50	13	5	3	38	▲ 2
	生活教養	40	40	0	20	37	1.85	22	18	13	0.72	13	5	1	36	▲ 4
	福祉	40	33	▲ 7	20	32	1.60	22	18	10	0.56	10	8	4	36	▲ 4
	計	160	145	▲ 15	80	138	1.73	88	72	54	0.75	54	18	8	150	▲ 10
宇治山田	普通	160	164	4	48	159	3.31	53	107	110	1.03	107	0	0	160	0
	計	160	164	4	48	159	3.31	53	107	110	1.03	107	0	0	160	0
伊 勢	普通	240	200	▲ 40	-	-	-	-	240	201	0.84	225	15	1	226	▲ 14
	国際科学コース	40	55	15	-	-	-	-	40	65	1.63	40	0	0	40	0
	計	280	255	▲ 25	-	-	-	-	280	266	0.95	265	15	1	266	▲ 14
宇治山田商業	商業	80	109	29	40	101	2.53	44	36	51	1.42	36	0	0	80	0
	情報処理	40	47	7	20	47	2.35	22	18	22	1.22	18	0	0	40	0
	国際	40	57	17	20	57	2.85	22	18	27	1.50	18	0	0	40	0
伊勢工業	計	160	213	53	80	205	2.56	88	72	100	1.39	72	0	0	160	0
	機械	80	69	▲ 11	40	67	1.68	44	36	32	0.89	32	4	5	80	0
	電気	40	39	▲ 1	20	37	1.85	22	18	19	1.06	18	0	0	40	0
	建築	40	31	▲ 9	20	30	1.50	22	18	10	0.56	10	8	3	35	▲ 5
	計	160	139	▲ 21	80	134	1.68	88	72	61	0.85	60	12	8	155	▲ 5
南伊勢 (学生会校舎)	普通	40	6	▲ 34	20	5	0.25	5	35	1	0.03	1	34	0	6	▲ 34
鳥 羽	計	40	6	▲ 34	20	5	0.25	5	35	1	0.03	1	34	0	6	▲ 34
	総合学科	40	28	▲ 12	20	29	1.45	22	18	9	0.50	9	9	0	31	▲ 9
志 摩	計	40	28	▲ 12	20	29	1.45	22	18	9	0.50	9	9	0	31	▲ 9
	普通	40	23	▲ 17	20	23	1.15	22	18	2	0.11	2	16	0	24	▲ 16
水 産	計	40	23	▲ 17	20	23	1.15	22	18	2	0.11	2	16	0	24	▲ 16
	海洋・機関	40	26	▲ 14	20	34	1.70	22	18	17	0.94	17	1	0	39	▲ 1
	水産資源	40	18	▲ 22	20	22	1.10	20	20	2	0.10	2	18	0	22	▲ 18
	計	80	44	▲ 36	40	56	1.40	42	38	19	0.50	19	19	0	61	▲ 19
伊勢志摩地域(全日制) 計		1,120	1,017	▲ 103	388	749	1.93	408	712	622	0.87	589	123	17	1,013	▲ 107

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

※「1 2 月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

(2) 定時制

学校名	学科・コース	入学定員	R7/12時点の進学		前期選抜等（下段：特別選抜）				後期選抜				再募集		入学者数	欠員	
			希望者数	定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集人数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数			合格者数
伊勢まなび	普通 （午前の部）	40	16	▲ 24	20 （特別）	17 0	0.85 0.00	17	23	1	0.04	1	22	0	0	18	▲ 22
	普通 （午後の部）	40	13	▲ 27	20 （特別）	13 0	0.65 0.00	13	27	2	0.07	1	26	0	0	14	▲ 26
	ものづくり工学 （夜間部）	40	6	▲ 34	20 （特別）	6 0	0.30 0.00	5	35	0	0.00	0	35	0	0	6	▲ 34
	計	120	35	▲ 85	72	36	—	35	85	3	0.04	2	83	0	0	38	▲ 82

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

※「1 2 月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

2 令和7年3月卒・現高2

(1) 全日制

学校名	学科・コース	入学定員	R6.12時点の進学		前期選抜等				後期選抜				再募集			入学者数	欠員
			希望者数	定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集人数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数		
明 野	生産科学	40	46	6	20	47	2.35	22	18	1.00	18	0	0	0	40	0	
	食品科学	40	38	▲ 2	20	34	1.70	22	18	0.89	18	0	0	0	40	0	
	生活教養	40	51	11	20	50	2.50	22	18	1.28	18	0	0	0	40	0	
	福祉	40	33	▲ 7	20	33	1.65	22	18	0.94	17	1	2	1	40	0	
宇治山田	計	160	168	8	80	164	2.05	88	72	1.03	71	1	2	1	160	0	
	普通	200	201	1	60	178	2.97	66	134	1.06	134	0	0	0	200	0	
	計	200	201	1	60	178	2.97	66	134	1.06	134	0	0	0	200	0	
伊 勢	普通	240	224	▲ 16	-	-	-	-	240	212	0.88	240	0	0	240	0	
	国際科学コース	40	61	21	-	-	-	-	40	73	1.83	40	0	0	40	0	
	計	280	285	5	-	-	-	-	280	285	1.02	280	0	0	280	0	
宇治山田商業	商業	80	102	22	40	93	2.33	44	36	1.19	36	0	0	0	80	0	
	情報処理	40	38	▲ 2	20	38	1.90	22	18	1.00	18	0	0	0	40	0	
	国際	40	38	▲ 2	20	34	1.70	22	18	0.89	18	0	0	0	40	0	
	計	160	178	18	80	165	2.06	88	72	1.07	72	0	0	0	160	0	
伊勢工業	機械	80	80	0	40	76	1.90	44	36	1.08	36	0	0	0	80	0	
	電気	40	37	▲ 3	20	36	1.80	22	18	0.94	18	0	0	0	40	0	
	建築	40	39	▲ 1	20	39	1.95	22	18	0.78	14	4	5	4	40	0	
	計	160	156	▲ 4	80	151	1.89	88	72	0.97	68	4	5	4	160	0	
南伊勢 (度会校舎)	普通	40	35	▲ 5	20	34	1.70	22	18	0.56	10	8	3	3	35	▲ 5	
	計	40	35	▲ 5	20	34	1.70	22	18	0.56	10	8	3	3	35	▲ 5	
鳥 羽	総合学科	40	31	▲ 9	20	32	1.60	22	18	0.67	11	7	8	7	40	0	
	計	40	31	▲ 9	20	32	1.60	22	18	0.67	11	7	8	7	40	0	
志 摩	普通	40	18	▲ 22	20	17	0.85	17	23	0.22	5	18	3	3	25	▲ 15	
	計	40	18	▲ 22	20	17	0.85	17	23	0.22	5	18	3	3	25	▲ 15	
水 産	海洋・機関	40	29	▲ 11	20	35	1.75	22	18	0.72	13	5	0	0	35	▲ 5	
	水産資源	40	13	▲ 27	20	15	0.75	15	25	0.00	0	25	0	0	15	▲ 25	
	計	80	42	▲ 38	40	50	1.25	37	43	0.30	13	30	0	0	50	▲ 30	
伊勢志摩地域(全日制) 計		1,160	1,114	▲ 46	400	791	1.98	428	732	688	0.94	664	68	21	18	1,110	▲ 50

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

(2) 定時制

学校名	学科・コース	入学定員	R612時点の進学		前期選抜等(下段：特別選抜)				後期選抜				再募集			入学者数	欠員
			希望者数	定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集人数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数		
伊勢まなび	普通 (午前の部)	40	25	▲ 15	20 (特別)4	26 3	1.30 0.75	24	16	3	0.19	3	13	0	0	27	▲ 13
	普通 (午後の部)	40	16	▲ 24	20 (特別)4	17 0	0.85 0.00	17	23	4	0.17	4	19	1	1	22	▲ 18
	ものづくり工学 (夜間部)	40	3	▲ 37	20 (特別)4	3 0	0.15 0.00	3	37	1	0.03	1	36	0	0	4	▲ 36
	計	120	44	▲ 76	72	49	—	44	76	8	0.11	8	68	1	1	53	▲ 67

令和 8 年度の協議について

1 令和 7 年度の協議

令和 7 年度の協議では、令和 4 年 3 月に策定した「県立高等学校活性化計画」に基づき、協議を積み重ねながら、学びと配置のあり方の考え方と令和 10 年度に想定される当地域の県立学校の学級減への具体的対応の方向性を取りまとめました。

2 令和 8 年度の協議の進め方

令和 8 年度の協議については、合わせて 5 学級減程度の減少が想定される令和 13～15 年度には、令和 10 年度の学級減への対応後の配置のままでは、当地域の高校として望ましいとされる学校規模を維持することが難しくなることから、伊勢志摩地域の高等学校の再編に向けた協議を進めます。

現県立高等学校活性化計画の計画期間は令和 4 年度から 8 年度までとなっており、三重県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議において次期活性化計画の策定に向けた審議が進められています。令和 8 年 3 月には「県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について」の答申がありました。

こうした県全体の動きも注視しながら、伊勢志摩地域の高等学校の再編に向けた具体的な方向性について、令和 9 年度を目途に考え方をとりまとめることとします。

3 今後の協議会開催スケジュール

(1) 令和 8 年度 (2 回開催)

○第 1 回協議会 (本日 9 月 8 日)

- ・伊勢志摩地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・伊勢志摩地域の高等学校の再編について①

○第 2 回協議会 (令和 8 年 2 月頃)

- ・伊勢志摩市内の高等学校の再編について②

伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

		R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3	R 16.3	R 17.3
		卒業生数	卒業生数	卒業生数	卒業生数	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	前年度対比	1,126	975	1,029	1,001	1,020	951	899	953	895	860	779	864	763
	R8.3対比		-151	54	-28	19	-69	-52	54	-58	-35	-81	85	-101
度会郡	卒業生数	337	311	321	296	295	273	275	273	292	244	258	231	204
	前年度対比		-26	10	-25	-1	-22	2	-2	19	-48	14	-27	-27
鳥羽市	R8.3対比					-1	-23	-21	-23	-4	-52	-38	-65	-92
	卒業生数	122	106	119	109	99	99	108	86	103	88	95	87	75
志摩市	前年度対比		-16	13	-10	-10	0	9	-22	17	-15	7	-8	-12
	R8.3対比					-10	-10	-1	-23	-6	-21	-14	-22	-34
小計	卒業生数	340	335	284	316	300	239	286	279	246	246	214	200	192
	前年度対比		-5	-51	32	-16	-61	47	-7	-33	0	-32	-14	-8
県内合計	R8.3対比					-16	-77	-30	-37	-70	-70	-102	-116	-124
	卒業生数	1,925	1,727	1,753	1,722	1,714	1,562	1,568	1,591	1,536	1,438	1,346	1,382	1,234
	R8.3対比		-198	26	-31	-8	-152	6	23	-55	-92	-92	36	-148
	卒業生数	16,055	15,891	15,718	15,511	15,303	14,834	14,377	14,011	14,032	13,398	12,753	12,420	11,764
	前年度対比		-164	-173	-207	-208	-469	-457	-366	21	-634	-645	-333	-656
	R8.3対比					-208	-677	-1,134	-1,500	-1,479	-2,113	-2,758	-3,091	-3,747

令和8年5月1日 教育政策課調べ

【県立高校（全日制）】

伊勢市内	入学定員 (学級数)	1,000 (25)	960 (24)	960 (24)	920 (23)
	欠員数※	3	33	0	29
伊勢市以外	入学定員 (学級数)	320 (8)	200 (5)	200 (5)	200 (5)
	欠員数※	117	51	50	78
小計	入学定員 (学級数)	1,320 (33)	1,160 (29)	1,160 (29)	1,120 (28)
	欠員数※	120	84	50	107
県内合計	入学定員 (学級数)	10,640 (268)	10,440 (263)	10,240 (258)	10,000 (252)
	欠員数※	342	225	186	411

【私立高校（全日制）、高専】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
皇學館	入学定員	315	315	315	315
	入学者数	327	288	321	366
伊勢学園	入学定員	230	230	230	230
	入学者数	289	260	208	253
鳥羽商船	入学定員	120	120	140	140
	入学者数	120	122	141	141
3校の欠員数（合計）		△71	△5	15	△75

(参考)

三重	入学定員	535	530	530	530
	入学者数	563	468	530	558

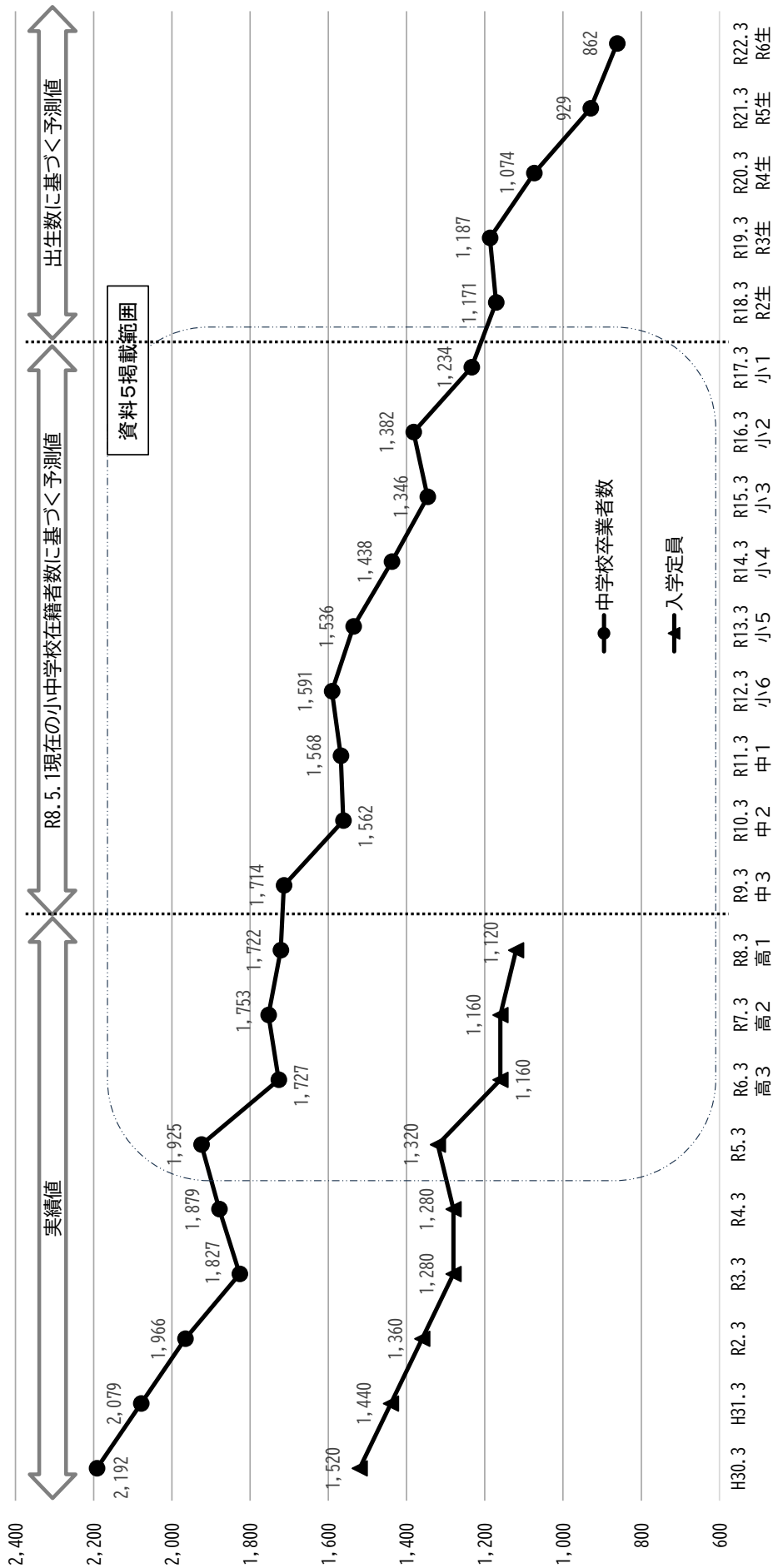
※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

※令和8年度入学者数は、各校ホームページの記載人数を転記

※欠員数の（△）は、定員を超過した入学者数を示す。

※令和8年度入学者数は、三重高等学校ホームページの記載人数を転記

伊勢志摩地域の中学校卒業者と県立高等学校入学定員（全日制）の推移と予測



【伊勢志摩地域の出生数】

	R2年度生 5～6歳	R3年度生 4～5歳	R4年度生 3～4歳	R5年度生 2～3歳	R6年度生 1～2歳	R7年度生 0～1歳
伊勢市	761	744	705	601	544	-
度会郡	180	200	177	154	134	-
鳥羽市	65	88	56	57	42	-
志摩市	177	167	145	126	150	-
合計	1,183	1,199	1,083	938	870	-

※出生数に基づく予測値(R2～R6年度生まれ)は、昨年度時点のデータに基づいて作成しています。

県立高等学校(全日制)の学級数の状況(令和9年度)

資料 7

地域名	入学定員 (R9.3卒業見込者数)	40人ベースの学級数								学校数
		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	
桑名	1,160 (1,943)				桑名北(普) 桑名工業(工)		桑名西(普)	いなべ総合学園(総)	桑名(普・看・理)	5校 (29学級)
四日市	2,480 (3,347)			朝明(普・福) 四日市四郷(普)▲1	菰野(普)	四日市西(普) 四日市中央工業(工) 四日市農芸(農・家)	四日市商業(商)	川越(普・他) 四日市工業(工) 四日市西(普)▲1	四日市(普)	11校 (60学級)
鈴鹿	1,120 (2,223)		石薬師(普)		飯野(外・他) 稲生(普・体) 亀山(普・家・情)▲1		白子(普・家)	神戸(普・理)		6校 (27学級)
津	1,840 (2,454)		白山(普・商)		久居(普)	久居農林(農・家)▲1 津商業(商)▲1	津東(普) 津工業(工)	津西(普・他)▲1	津(普)	8校 (43学級)
松阪	1,000 (1,800)		飯南(総) 卯学園(総)		松阪商業(商)	松阪工業(工) 相可(普・農・家)		松阪(普・理)		6校 (25学級)
伊勢志摩	1,120 (1,714)	南伊勢 度会校舎(普) 鳥羽(総) 志摩(普)	水産(水)		明野(農・家・福) 宇治山田(普) 宇治山田商業(商) 伊勢工業(工)			伊勢(普)		9校 (28学級)
伊賀	920 (1,389)	あけぼの学園(総)				名張(総) 名張青峰(普)	上野(普・理) 伊賀白鳳 (農・工・商・福)			5校 (24学級)
東紀州	360 (433)				尾鷲(普・工・商)	熊野青藍 木本校舎(普・総) 紀南校舎(総)				2校 (10学級)
学校数	学校数	4校 (4学級)	5校 (10学級)	2校 (6学級)	13校 (53学級)	10校 (50学級)	7校 (43学級)	8校 (56学級)	3校 (24学級)	52校 (246学級)

【備考】

- 学科名略称：(普)普通科(普通科におけるコース制、学際領域学科など普通教育を主とする学科を含む)、専門学科[(農)農業、(工)工業、(商)商業、(水)水産、(家)家庭、(看)看護、(情)情報、(福)福祉、(理)理数、(体)体育、(外)外国語、(他)その他専門学科(国際探究、国際科学、応用デザイン)、(総)総合学科
- 校舎制の熊野青藍高校は、木本校舎4学級・紀南校舎1学級となっています。
- 1学級40人ベースの学級数を記載していますが、30人・35人学級の実施により伊賀白鳳高校は7学級240人、尾鷲高校は5学級160人として募集しています。

※▲：前年度比減

伊勢志摩地域および松阪地域の高等学校等の学科・コースについて(令和9年度)

資料 8

	学校名	大学科	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8
伊勢志摩地域全日制課程	県立 宇治山田高校	普通科	160	普通科	普通科	普通科	普通科				全28学級 普通科 13 専門学科 14 (工業4) (商業4) (農業2) (家庭1) (福祉1) (水産2) 総合学科 1
	県立 伊勢高校	普通科	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース		
	県立 伊勢工業高校	専門学科	160	機械科	機械科	電気科	建築科				
	県立 宇治山田商業高校	専門学科	160	商業科	商業科	情報処理科	国際科				
	県立 明野高校	専門学科	160	生産科学科	食品科学科	生活教養科	福祉科				
	県立 南伊勢高校	普通科	40	普通科						伊勢志摩地域 中学校卒業者数 R9.3卒 1,714人	
	県立 鳥羽高校	総合学科	40	総合学科							
	県立 志摩高校	普通科	40	普通科							
	県立 水産高校	専門学科	80	海洋・機関科	水産資源科						
	私立	皇学館高校	普通科	315	普通科:315人、進学コース・特別進学コース						
私立	伊勢学園高校	普通科	230	普通科:230人、特別進学コース(ブルーム)・選択コース(ダイバース・情報ビジネス・生活デザイン・進学・アスリート)・看護医療コース							

○定時制課程 県立 伊勢まなび高校 120人
普通科:午前の部40人、午後の部40人

ものづくり工学科：夜間部40人

普通科

普通科：(全日型、水曜、土曜の各コース)

普通科：(通学コース、通信一般コース等)

商船学科(40)、情報機械システム工学科(100)

(参考)

学校名		入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8
松阪地域全日制課程	県立 松阪高校	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	理数科	全25学級 普通科 9 専門学科 12 (工業5) (商業4) (農業2) (家庭1) 総合学科 4
	県立 松阪工業高校	200	工業化学科	機械科	繊維デザイン科	自動車科	電気工学科			
	県立 松阪商業高校	160	総合ビジネス科	総合ビジネス科	総合ビジネス科	国際ビジネス科				
	県立 飯南高校	80	郷土・環境、介護福祉 総合進学、コンピュータ					松阪地域 中学校卒業生数 R9.3卒 1,800人		
	県立 相可高校	200	普通科 専門学科	普通科	生産経済科	環境創造科	食物調理科			
	県立 昴学園高校	80	総合学科	地域探究、総合スポーツ 美術工芸、生活福祉、環境技術						
私立	三重高校	530	普通科	普通科(ステラコース《特進クラス》・ナビスコース《進学クラス、アスリートクラス》、六年制)						

※大学の普通科には普通科系専門学科を含む

○定時制課程

通信制課程 公立 松阪高校

私立 みえ太台おおぞら高校

市町別の中学校卒業生進学先の状況

資料 9

伊勢市の状況

	卒業 者数	伊勢志摩地域																			地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専・ 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		県立高校							私立高校・国立高専					私立・高専 小計														
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園		鳥羽 商船													
R8.3卒	1,001	71	166	82	68	61	12	1	1	3	465	168	108	35	311	776	64	14	6	58	142	83	1,001					
		448						1.2%	0.2%	0.3%	46.5%	276	27.6%	3.5%	31.1%	77.5%	6.4%	1.4%	0.6%	5.8%	14.2%	8.3%	100%					
		92	187	87	74	79	10	1	2	12	544	152	79	32	263	807	51	12	3	75	141	81	1,029					
R7.3卒	1,029	519						1.0%	0.3%	1.2%	52.9%	231	22.4%	3.1%	25.6%	78.4%	5.0%	1.2%	0.3%	7.3%	13.7%	7.9%	100%					
		50.4%																										

鳥羽市の状況

	卒業 者数	伊勢志摩地域																			地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 ①+②+③
		県立高校					私立高校・国立高専					私立 ・高専 小計	地域内 合計 ①															
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会校舎	県立高校 小計		皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	伊勢 ・高専	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外								
R8.3卒	109	8	11	5	7	11	11	2	2	0	57	20	10	7	37	94	1	2	0	9	12	3	109					
		42 38.5%						10.1%	4 3.7%		52.3%	30 27.5%		6.4%	33.9%	86.2%	0.9%	2%	0%	8.3%	11.0%	2.8%	100%					
R7.3卒	119	6	8	14	6	16	12	2	3	0	67	15	10	11	36	103	4	0	0	1	5	11	119					
		50 42.0%						10.1%	5 4.2%		56.3%	25 21.0%		9.2%	30.3%	86.6%	3.4%	0%	0%	0.8%	4.2%	9.2%	100%					

志摩市の状況

	卒業 者数	伊勢志摩地域																			地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		県立高校						私立高校・国立高専						地域内 合計 ①														
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 ・高専 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 ・高専 小計									
R8.3卒	316	22	48	25	21	18	2	14	31	0	181	51	21	12	84	265	8	2	3	11	24	27	316					
		134						0.6%	45		57.3%	72	3.8%	26.6%	83.9%	2.5%	0.6%	0.9%	3.5%	7.6%	8.5%	100%						
		42.4%						14.2%		22.8%																		
R7.3卒	284	28	33	19	31	13	5	22	28	0	179	29	15	18	62	241	9	1	2	13	25	18	284					
		124						1.8%	50		63.0%	44	6.3%	21.8%	84.9%	3.2%	0.4%	0.7%	4.6%	8.8%	6.3%	100%						
		43.7%						17.6%		15.5%																		

玉城町の状況

		伊勢志摩地域																	地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専・ 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)	
		県立高校							私立高校・国立高専																		
卒業 者数		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 ・高専 小計												
		17	5	11	13	7	1	0	0	1	55	14	14	1	29	84	29	7	2	12	50	18	152				
R8.3卒	152	53 34.9%					0.7%	0	0	0.7%	36.2%	28 18.4%		0.7%	19.1%	55.3%	19.1%	4.6%	1.3%	7.9%	32.9%	11.8%	100%				
R7.3卒	157	19	13	10	8	6	2	0	0	9	67	7	12	5	24	91	28	7	1	17	53	13	157				
		56 35.7%						1.3%	0%			5.7%	42.7%											19 12.1%		3.2%	15.3%

度会町の状況

卒業 者数		伊勢志摩地域																			地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専・ 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		県立高校									私立高校・国立高専					私立 ・高専 小計												
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船														
R8.3卒	64	7	11	3	4	6	0	0	1	1	33	9	7	2	18	51	4	1	1	5	11	2	64					
		31					0	1	1	1	33	16		2	18	51	4	1	1	5	11	2	64					
		48.4%					0%	2%	1.6%	51.6%	25.0%		3.1%	28.1%	79.7%	6.3%	2%	2%	7.8%	17.2%	3.1%	100%						
R7.3卒	69	4	15	5	9	2	0	0	0	7	42	6	5	3	14	56	6	0	0	2	8	5	69					
		35					0	0	7	42	11		3	14	56	6	0	0	2	8	5	69						
		50.7%					0%	0%	10.1%	60.9%	15.9%		4.3%	20.3%	81.2%	8.7%	0%	0%	2.9%	11.6%	7.2%	100%						

南伊勢町の状況

	卒業 者数	県立高校											私立高校・国立高専				地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高 専・ 県外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会校 舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 ・高専 小計									
R8.3卒	42	4	4	1	7	0	0	7	2	0	25	3	4	1	8	33	1	1	4	3	9	0	42	
		16 38.1%					0%	21.4%			0.0%	59.5%	16.7%		2.4%	19.0%	78.6%	2.4%	2%	9.5%	7.1%	21.4%	0.0%	100%
R7.3卒	43	3	2	9	2	3	0	0	1	3	23	7	1	1	9	32	4	0	1	4	9	2	43	
		19 44.2%					0%	2.3%			7.0%	53.5%	18.6%		2.3%	20.9%	74.4%	9.3%	0%	2.3%	9.3%	20.9%	4.7%	100%

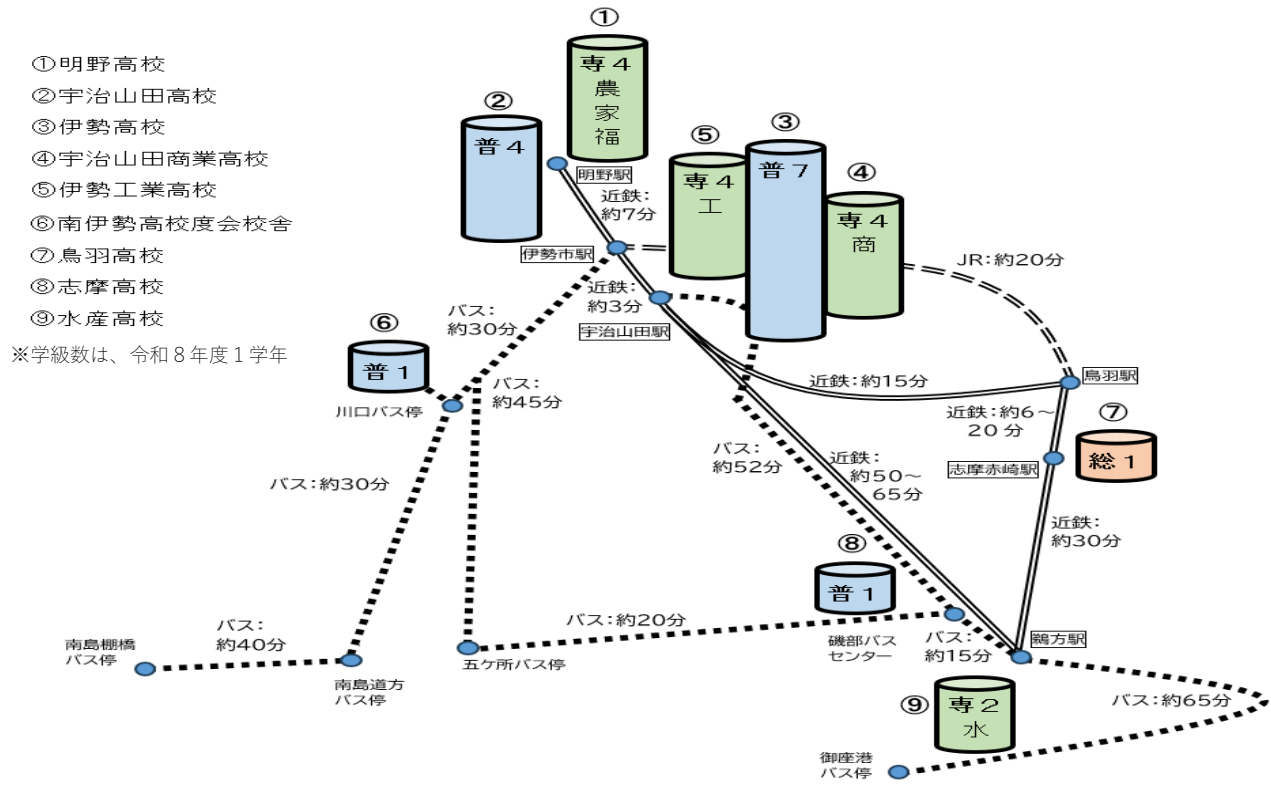
大紀町の状況

	卒業 者数	県立高校											私立高校・国立高専				地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高 専・県 外	地域外 合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会校 舎舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 ・高専 小計									
		0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	1	1	3	5									
R8.3卒	38	3 7.9%					0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.9%	2 5.3%	3 7.9%	5 13.2%	8 21.1%	18 47.4%	1 2.6%	1 2.6%	7 18.4%	27 71.1%	3 7.9%	38 100%			
R7.3卒	52	2	1	1	0	0	0	0	1	5	0	6	1	7	12	24	1	1	7	33	7	52		
		4 7.7%					0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	5 9.6%	6 11.5%	1 1.9%	7 13.5%	12 23.1%	24 46.2%	1 1.9%	1 1.9%	7 13.5%	33 63.5%	7 13.5%	52 100%			

伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等

資料 10

(1) 高校配置図



(2) 通学方法別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校実態調査より

学校名		宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
通学方法											
徒歩のみ		27	12	3	5	12	3	6	8	13	89
		4.9%	1.5%	0.7%	1.0%	2.6%	6.1%	5.8%	10.7%	7.8%	2.8%
自転車のみ		194	463	212	173	122	20	15	5	56	1,260
		35.4%	56.4%	48.8%	36.2%	26.5%	40.8%	14.6%	6.7%	33.7%	40.2%
JRのみ		63	0	10	41	0	0	0	0	0	114
		11.5%	0.0%	2.3%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
私鉄のみ		133	16	28	1	121	0	42	24	0	365
		24.3%	1.9%	6.5%	0.2%	26.3%	0.0%	40.8%	32.0%	0.0%	11.6%
バスのみ		37	38	16	41	0	16	3	23	62	236
		6.8%	4.6%	3.7%	8.6%	0.0%	32.7%	2.9%	30.7%	37.3%	7.5%
船のみ		1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
		0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.6%	0.1%
JRと	私鉄	0	1	0	17	24	0	6	0	0	48
		0.0%	0.1%	0.0%	3.6%	5.2%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	1.5%
	バス	1	2	0	3	0	0	0	0	0	6
		0.2%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
私鉄と	自転車	25	47	23	47	2	0	0	0	0	144
		4.6%	5.7%	5.3%	9.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%
	バス	6	11	1	12	37	2	0	2	10	81
		1.1%	1.3%	0.2%	2.5%	8.0%	4.1%	0.0%	2.7%	6.0%	2.6%
船と	船	1	1	0	0	2	0	0	1	9	14
		0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	5.4%	0.4%
	自転車	48	193	115	116	124	0	23	3	0	622
		8.8%	23.5%	26.5%	24.3%	27.0%	0.0%	22.3%	4.0%	0.0%	19.8%
バスと	船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自転車	2	22	18	13	0	3	0	0	7	65
		0.4%	2.7%	4.1%	2.7%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	4.2%	2.1%
船と	単車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自転車	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.7%	0.6%	0.1%
その他 (車送迎、3つ以上の交通機関等)		10	15	8	9	16	5	6	7	7	83
		1.8%	1.8%	1.8%	1.9%	3.5%	10.2%	5.8%	9.3%	4.2%	2.6%
合計		548	821	434	478	460	49	103	75	166	3,134

(3)通学費用別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校実態調査より

学校名 費用	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
不要	229	468	218	178	142	27	23	19	79	1,383	1,383
	41.8%	57.0%	50.2%	37.2%	30.9%	55.1%	22.3%	25.3%	47.6%	44.1%	44.1%
3,000円以内	25	33	15	11	34	2	5	2	9	136	1,519
	4.6%	4.0%	3.5%	2.3%	7.4%	4.1%	4.9%	2.7%	5.4%	4.3%	48.5%
5,000円以内	117	123	84	95	122	2	17	19	2	581	2,100
	21.4%	15.0%	19.4%	19.9%	26.5%	4.1%	16.5%	25.3%	1.2%	18.5%	67.0%
7,000円以内	108	113	71	98	91	2	49	5	2	539	2,639
	19.7%	13.8%	16.4%	20.5%	19.8%	4.1%	47.6%	6.7%	1.2%	17.2%	84.2%
9,000円以内	11	12	5	22	17	2	4	0	3	76	2,715
	2.0%	1.5%	1.2%	4.6%	3.7%	4.1%	3.9%	0.0%	1.8%	2.4%	86.6%
11,000円以内	16	8	11	11	14	2	2	6	8	78	2,793
	2.9%	1.0%	2.5%	2.3%	3.0%	4.1%	1.9%	8.0%	4.8%	2.5%	89.1%
13,000円以内	21	24	20	20	8	0	2	3	6	104	2,897
	3.8%	2.9%	4.6%	4.2%	1.7%	0.0%	1.9%	4.0%	3.6%	3.3%	92.4%
15,000円以内	10	27	4	34	11	1	1	14	35	137	3,034
	1.8%	3.3%	0.9%	7.1%	2.4%	2.0%	1.0%	18.7%	21.1%	4.4%	96.8%
15,001円以上	11	13	6	9	21	11	0	7	22	100	3,134
	2.0%	1.6%	1.4%	1.9%	4.6%	22.4%	0.0%	9.3%	13.3%	3.2%	100.0%
合計	548	821	434	478	460	49	103	75	166	3,134	3,134

※通学費用は1か月あたりの費用

(4)通学時間別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校実態調査より

学校名 時間	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
15分以内	45	174	73	72	44	10	16	13	53	500	500
	8.2%	21.2%	16.8%	15.1%	9.6%	20.4%	15.5%	17.3%	31.9%	16.0%	16.0%
30分以内	211	272	142	134	146	12	17	24	30	988	1,488
	38.5%	33.1%	32.7%	28.0%	31.7%	24.5%	16.5%	32.0%	18.1%	31.5%	47.5%
45分以内	107	148	79	75	103	13	11	21	21	578	2,066
	19.5%	18.0%	18.2%	15.7%	22.4%	26.5%	10.7%	28.0%	12.7%	18.4%	65.9%
60分以内	67	99	81	85	86	7	40	11	32	508	2,574
	12.2%	12.1%	18.7%	17.8%	18.7%	14.3%	38.8%	14.7%	19.3%	16.2%	82.1%
90分以内	85	112	50	85	67	6	16	6	9	436	3,010
	15.5%	13.6%	11.5%	17.8%	14.6%	12.2%	15.5%	8.0%	5.4%	13.9%	96.0%
120分以内	27	16	9	22	13	1	3	0	15	106	3,116
	4.9%	1.9%	2.1%	4.6%	2.8%	2.0%	2.9%	0.0%	9.0%	3.4%	99.4%
121分以上	6	0	0	5	1	0	0	0	6	18	3,134
	1.1%	0.0%	0.0%	1.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.6%	100.0%
合計	548	821	434	478	460	49	103	75	166	3,134	3,134

※通学時間は片道の所要時間

(5)自宅外通学生徒数

R8. 5. 1 学校実態調査より

学校名 費用	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
下宿	0	4	1	14	0	0	0	0	36	55
寄宿舍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	1	14	0	0	0	0	36	55

伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況

資料 1 1

(1) 令和8年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭福祉	15	16	52	67	4	154
		9.7%	10.4%	33.8%	43.5%	2.6%	100.0%
宇治山田	普通	161	5	10	4	11	191
		84.3%	2.6%	5.2%	2.1%	5.8%	100.0%
伊勢	普通	244	2	4	0	1	251
		97.2%	0.8%	1.6%	0.0%	0.4%	100.0%
宇治山田商	商業	93	11	40	48	3	195
		47.7%	5.6%	20.5%	24.6%	1.5%	100.0%
伊勢工	工業	15	2	12	122	0	151
		9.9%	1.3%	7.9%	80.8%	0.0%	100.0%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	1	1	6	25	0	33
		3.0%	3.0%	18.2%	75.8%	0.0%	100.0%
鳥羽	総合	5	2	9	37	2	55
		9.1%	3.6%	16.4%	67.3%	3.6%	100.0%
志摩	普通	6	1	9	18	0	34
		17.6%	2.9%	26.5%	52.9%	0.0%	100.0%
水産	水産	1	9	5	28	1	44
		2.3%	20.5%	11.4%	63.6%	2.3%	100.0%

普通科計	412	9	29	47	12	509
	80.9%	1.8%	5.7%	9.2%	2.4%	100.0%
専門学科計	124	38	109	265	8	544
	22.8%	7.0%	20.0%	48.7%	1.5%	100.0%
総合学科計	5	2	9	37	2	55
	9.1%	3.6%	16.4%	67.3%	3.6%	100.0%
合計	541	49	147	349	22	1,108
	48.8%	4.4%	13.3%	31.5%	2.0%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大等」は専攻科、高専を含む

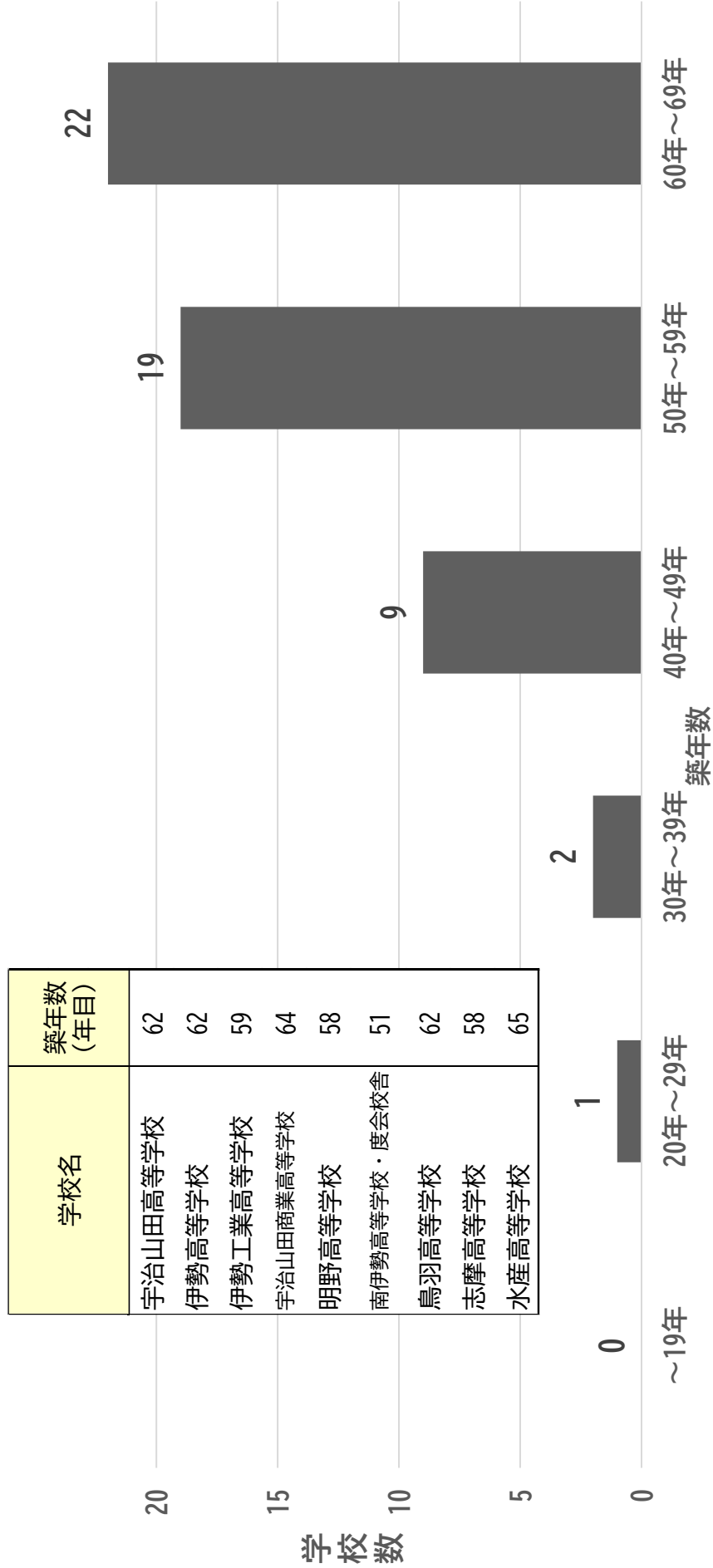
※「その他」は進学待機を含む

(2) 令和7年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭福祉	24	16	48	66	3	157
		15.3%	10.2%	30.6%	42.0%	1.9%	100.0%
宇治山田	普通	170	8	16	1	2	197
		86.3%	4.1%	8.1%	0.5%	1.0%	100.0%
伊勢	普通	242	8	3	2	19	274
		88.3%	2.9%	1.1%	0.7%	6.9%	100.0%
宇治山田商	商業	89	4	22	43	0	158
		56.3%	2.5%	13.9%	27.2%	0.0%	100.0%
伊勢工	工業	15	0	16	118	0	149
		10.1%	0.0%	10.7%	79.2%	0.0%	100.0%
南伊勢 (度会・南勢)	普通	3	1	3	24	0	31
		9.7%	3.2%	9.7%	77.4%	0.0%	100.0%
鳥羽	総合	1	4	8	22	2	37
		2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100.0%
志摩	普通	9	3	13	20	2	47
		19.1%	6.4%	27.7%	42.6%	4.3%	100.0%
水産	水産	4	9	8	28	0	49
		8.2%	18.4%	16.3%	57.1%	0.0%	100.0%

普通科計	424	20	35	47	23	549
	77.2%	3.6%	6.4%	8.6%	4.2%	100.0%
専門学科計	132	29	94	255	3	513
	25.7%	5.7%	18.3%	49.7%	0.6%	100.0%
総合学科計	1	4	8	22	2	37
	2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100.0%
合計	557	53	137	324	28	1,099
	50.7%	4.8%	12.5%	29.5%	2.5%	100.0%

【伊勢志摩地域の高等学校の状況】



【備考】

- ※1 各県立高等学校（全日制）の主たる校舎の築年数（令和8年3月31日時点）
- ※2 熊野青藍高等学校については、木本校舎と紀南校舎をそれぞれ1校として計算している。また、木本高等学校と紀南高等学校については、熊野青藍高等学校と同一の校舎であるため、学校数に含めていない。
- ※3 南伊勢高等学校南勢校舎については、令和8年3月31日をもって閉校したため、学校数に含めていない。

令和 22 年度までの伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の総学級数について

令和 8 年度(現高 1)
地域の中学校卒業予定者数
1,722 人
募集定員 1,120 人

令和 10 年度(現中 2)
地域の中学校卒業予定者数
1,562 人
(R8 年度比 ▲160)

令和 15 年度(現小 3)
地域の中学校卒業予定者数
1,346 人
(R8 年度比 ▲376)

令和 18 年度
地域の中学校卒業予定者数
1,171 人
(R8 年度比 ▲511)

令和 22 年度
地域の中学校卒業予定者数
862 人
(R8 年度比 ▲860)

9 校 28 学級

宇治山田高校	(普 4)
伊勢高校	(普 7)
伊勢工業高校	(専 4)
宇治山田商業高校	(専 4)
明野高校	(専 4)
南伊勢高校	(普 1)
鳥羽高校	(総 1)
志摩高校	(普 1)
水産高校	(専 2)

7 校 25 学級程度

伊勢志摩地域の
県立高校
(全日制)

南伊勢高校校舎と
志摩高校の募集停止

20 学級程度

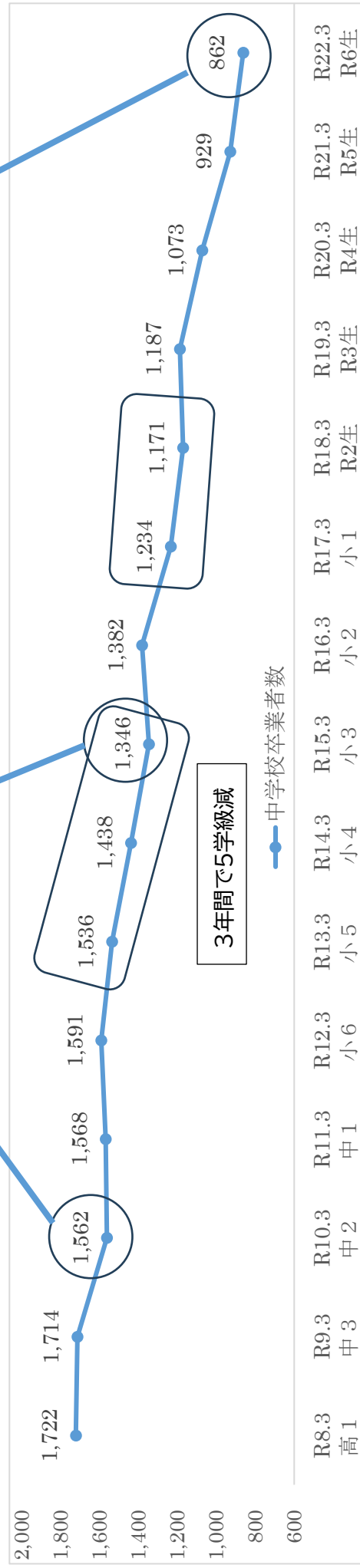
伊勢志摩地域の
県立高校
(全日制)

一定の学校規模（4～6 学級）の維持が不可能

11～14 学級程度

伊勢志摩地域の
県立高校
(全日制)

3 校程度
(1 校は水産高校)



※ 中3から小1までは、R8.5.1現在の在籍者数、R2年度生まれからR6年度生まれまでは、昨年度時点の出生数のデータに基づいて作成しています。